

# 森のたからものさがし

## 1 わらい

親子（幼児）で自然での活動を通して触れ合い交流を深めるとともに、自然の中での活動の良さを味わう。

## 2 指導のポイント

- (1) 何気ない場所でもたくさんの自然があることに気づかせる。
- (2) 自然の中で活動することで、木の実などの自然物との出会い、土や葉や幹に触れ合い、自然の良さを感ずることができる。
- (3) 親子でふれあいながら、協力して行う。（親子行事の場合）



## 2 コースと所要時間

GG 場 西側樹木園（施設内）  
20分～30分（説明5分、振り返り5分）



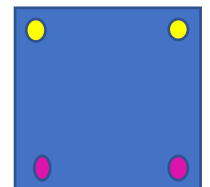
## 3 準備物(施設)

- ・たからものリスト（右上のカード1人1枚）
- ・ダックコール（集合の合図）、黒い布（振り返りで使用）

※各団体には、肌をあまり露出しない服装、各自1枚バンダナ（袋でも可）  
ブルーシート、帽子、飲み物等必要に応じて準備してもらう。

## 4 出発前の説明・準備（用具等を配布）

- (1) バンダナでバックづくり  
幼児に1人1枚のバンダナを準備してもらい、バンダナの四隅を結びバッグを作る。  
（バンダナのとなり同士の角を結ぶ）  
このバンダナに「たからもの」を入れることを説明する。→ビニールの袋でも可
- (2) 「たからものリスト」を参加者に配付し、リストを読みながら書かれている内容を説明する。  
参加者はリストにある自然物を探す。持ってこられる物は、バンダナのバッグに入れて拾ってくる。  
地面に生えている物は取らないなど、状況に応じたルールを伝える。
- (3) 範囲と時間、集合の合図を説明し、たからものを探す。
- (4) 集合の合図で説明を聞いた場所に集合させる。指導者の進行により集めてきたものを見せ合う。  
（少人数の時は黒い布の上に広げると鑑賞しやすい）
- (5) まとめをする。  
拾ってきたものに優劣をつけずに、ひとりひとりの発表を褒めて、それをみんなで分かち合うことを意識する。まとめの話は「見つけてきた全ての物が、自然の中では大切なもの」など、自然の大切さを伝える。



### 確認事項

- ・事前の下見を行う。（草刈りの有無。看板設置場所確認）
- ・危険物（ヘビ、ウルシ）の確認 ・動物の死骸や糞の確認。
- ・熱中症に留意し、水分補給を適宜行うよう団体担当者に確認。